

文化情報

あなたが
主役!!
ふるさと
文化!!

1994年(平成6年)9月1日(季刊)

第4号

発行所

財団法人 中條文化振興財団

〒760 高松市中央町5番28号 青井ビル4階

TEL・FAX (0878) 34-6790



価値転換としての文化

財団法人 中條文化振興財団 理事 井原理代

(香川大学経済学部教授)

での経済・効率至上主義の価値観のなかで見落とされ、きたやさしさや潤いといった価値観を込み込んだ概念のように思われる。

思えば、文化の問題は、一つの価値転換であり、それまでの価値観のなかで等閑視されてきたものを包摂する価値概念といえるかもしれない。第二次世界大戦後における文

のではないだろうか。

そうだとすれば、文化活動に求められる視座や姿勢があるように思われる。その一つは、既成の価値観を問い合わせる。その一つは、既成の文化が生まれていることはいうまでもないが、さらに職場や街あるいは道路づくりなどにも文化性がほしいと思うのである。

ここで、様々な領域において、みずみずしい価値転換がみられ、人々の住みみたい地域社会をもたらすような文化の創造を願うところである。

いま、「文化の時代」といわれる。ここに文化とは、何か。それは、経済や効率優先に対しても、人間尊重や環境重視に基づく概念であり、これま

化国家の建設といわれた文化とは、軍事に対する概念であり、また高度経済成長期における文化生活や文化住宅とうたわれたそれは、不便に対する概念ではなかつただろう。概念ではなかつただろうか。そして、文化は、価値転換を重ねながら、より真なるもの、善なるものの、美なるものを追求し、人間らしい社会を創り出す役割を担つていて

ではない。先に時代や他者迎合的な姿勢、単に伝承依存的な活動にならぬよう願うのである。

輪和語

今年は酷暑と水不足に明け暮れ、出会えば暑さと水の話ばかりだつた▼「高松砂漠」の語が復活。全国から「名水」が集結りである。文化活動は、音楽や美術、演劇といった芸術分野に限らず、あらゆる生活領域に広がってほしい。もとより、衣食住において食文化やフ

して、いたハズである。二十年の歳月に風化させていたのだ▼必ず被害をもたらす台風を渴望した。それも時間給水が始まつてからだ▼こうした人間のご都合主義を自然は拒否した。そこで「雨乞い」の強訴―迷惑なのは神仏である▼水を入手する「文明」を生かすのが「文化」である。支えの「文化」を持たない「文

明」はモロイ!!

文化協会めぐり

4

詫間町文化協会

創り出す喜びを通して

の生涯学習を



会長 稲田 精一

週休一日制による余暇時間の増加をもたらした。この自由な時間を、自分自身のため創造的に有意義に過ごして、人間性の回復に努めるとともに、社会連帯意識や郷土愛を育て、明るい住みよい町づくりのために、文化活動の一層の充実が必要であると考えたからである。

写真、生活、書道、園芸囲碁、工芸、芸能の各部となっている。その他に平成2年3月には、菊池寛賞、ずいひつ遍路宿賞、荒木暢夫賞久保井信夫賞にそれぞれ受賞した作品・協会員の俳句・川柳・短歌の優秀作品、各クラブ活動の紹介等を内容の「紫雲出」を発刊した。

●活動の状況

文化祭は自主運営をめざしているので、企画・立案・準備・運営・後始末等できる所は全員が頑張っている。内容は、展示の部（約千九百点）、芸能発表の部があり、協賛行事としては、盆栽・籐工芸・手書き和紙等の実演コーナー・バザー・短歌・川柳・俳句の吟句大会、囲碁将棋大会・映写会等も行っている。また、今年度からは生涯学習フェスティバルとして、町民全体会に参加を募り盛大に開催を予定している。

同好者が互に競い合い励げまし合い、相互に交流を深め、地域文化の振興を図る。創り出す喜びを通して生涯学習をめざしていく。

●沿革
設立しようとする機運が高まり昭和52年1月28日文化協会設立準備委員会（発起人会）が開催され同年3月15日、続木義雄氏を会長として発会式が行われた。

社会の急激な変化、平均寿命の伸長による高齢者の増加、家事労働時間の短縮、農業の機械化や

公民館主催の講座、教室では知的 requirement を満たす学習活動、芸術的創造活動、趣味・娯楽を生かす活動等があり、各講座、教室の終了者のうち、同好者がクラブを作り文化協会に加入している。

現在は、文芸、華道、陶芸、彫刻、美術、茶道

各クラブ週一～三回の活動で公共施設を中心に行なわれている。そこで、お互に技術を高めながら町外への展覧会への出品、作品集の製本、先進地での学習交流会、コンサートの

●組織と財政
協会の規模は、今年四十六クラブで会員数約八百名である。

会の運営は、役員会、理事會（各クラブの代表者一名）で年二～三回行っている。

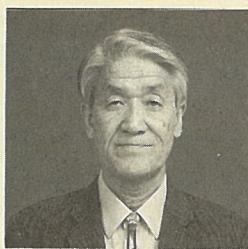
財政面は殆んど町から補助金（二十六万円）で賄っているが、各クラブへの補助が大部分で予算的には苦しいものとなっている。

各クラブでは個人会費を集めて活動している。

●協会の信条



文化余暇活動の拠点をめざすまちづくり



会長 井上 武夫

●概要

昭和五十七年、固定席八五三席の大ホールを有する土庄町立中央公民館が落成した。

それを契機に、「入れ物ができるても中身がなくてはいけない。文化の芽を伸ばさなくては……」という声があがり、文化協会創設の機運が高まってきた。

昭和五十七年、固定席八五三席の大ホールを有する土庄町立中央公民館が落成した。

そして、遂に、町内の部門別文化団体および個人の連絡と協調をはかり、郷土文化の発展と文化水準の向上推進に資することを目的とした土庄町文化協会が発足した。

平成六年八月現在、五十七団体が積極的に活動している。一方、年間約百万円の予算で主催事業を展開している。

●活動の状況

昭和五十七年に発足して以来十三年の月日が経つが、その間様々な事業

を開催してきた。主な事業としては、中央公民館を拠点とした『土庄町芸能まつり』『土庄町民文化展』『土庄町文化講演会』『夏の思い出の映画まつり』などがある。

芸能まつりは、過去十一年間続いている行事で、十分にわたり催される。参加がある。約五時間三十分にわたり催される。

主催事業の他に、中央公民館の大ホール運営と

して、町行政・教育委員会と協力しながら、自主事業にも力を入れている。ホンモノを鑑賞し、そのすばらしさに触れる。ホンモノを鑑賞し、

最近は、協会内にも高齢化がすすみ、若者層の新規加入、活性化等課題もあるが、これからも郷土文化の発展と文化水準の向上推進をめざし、がんばっていきたい。

平成七年一月には文学座の公演を予定している。また、本年度から新しい試みとして、音楽関係の団体が中心となつて運営していく『音楽フェスティバル』として場を盛りあげている。

文化講演会も、恒例の行事になつている。毎年中央から著名な講師をお招きし、講演会を実施している。昨年度は、元旦本テレビのニュースキャスター小林完吾氏の講演会を催し、好評であった。

お茶席なども設けられ、なかなかの盛況である。

この三年間、この二つの事業は同じ期間中に行

われ、教育委員会主催の事業とともに『生涯学習フェスティバル』として

事業とともに『生涯学習フェスティバル』として

事業とともに『生涯学習フェスティバル』として

事業とともに『生涯学習フェスティバル』として

事業とともに『生涯学習フェスティバル』として

事業とともに『生涯学習フェスティバル』として

事業とともに『生涯学習フェスティバル』として



サークル紹介

直島女文楽

後継者養成進行中！

直島は昔からの芸どころで、無形文化財直島女文楽もその伝統を受けついだ一つであり、この優雅な芸術の中に直島文化の誇りを見いだすことができる。

江戸時代に直島は天領地であつたため、人形浄瑠璃や歌舞伎などの公演が許され、中国・四国遠くは阪神方面からも観客が島を訪れ、港はその人達の船でいっぱいになつたほどで、島の人々がみるるのは一番最後であったといわれている。

昭和30年、香川県無形文化財、同37年、同県有形民俗文化財、同59年、同県無形民俗文化財に指定された。

島の人々は文楽にますます関心を深め、徳島へ文楽の人形を買いに行き、帰途小豆島沖で船が嵐のため難破、5人中2人が死亡するという不幸な事故にあり、それが原因で文楽はすたれ、明治・大正・昭和ととだえた。

しかし、昭和23年に女性を含めた8人で、無給のボランティアとして献身的な努力で保存に努めてきた。保存発展のためには活発な公演活動をと、町内の定期・隨時公演を5回程度、福祉施設の慰問など町外公演2回を計画し、積極的に行動するよう企画している。

また、年1回の大阪・国立文楽劇場の観劇や他の団体との交流も実施している。

現在、座員はますます人形と一体化し、おたがいの年齢にこだわらず、直島女文楽の保存伝承に熱意をもやしている。



これら人形浄瑠璃などは、今はおもかげもないが、城山にあつた舞台で、江戸中期から明治時代まで盛んに行われた。

当時、文楽は島に5座があり、八幡神社の祭礼、八十八夜には恵美須神社

で公演していたと伝えられている。明治6年、当時この直島の人々は文楽にますます関心を深め、徳島へ文楽の人形を買いに行き、帰途小豆島沖で船が嵐のため難破、5人中2人が死亡するという不幸な事故にあり、それが原因で文楽はすたれ、明治・大正・昭和ととだえた。

しかし、昭和23年に女性を含めた8人で、無給のボランティアとして献身的な努力で保存に努めてきた。保存発展のためには活発な公演活動をと、町内の定期・随时公演を5回程度、福祉施設の慰問など町外公演2回を計画し、積極的に行動するよう企画している。

現在、座員はますます人形と一体化し、おたがいの年齢にこだわらず、直島女文楽の保存伝承に熱意をもやしている。

（直島町教育次長 松下啓一）



づくりが叫ばれていたおり、平成4年に若い女性新入座員が8名も加わった。これを機会に、一日でも早く新入座員の技術の向上をはかるため、毎月2回座長以下高齢座員による練習を行うとともに、年2回延10日間淡路島人形座より指導者を招き、後継者養成に努めている。

複数で一つの人形をつかうことから、技術だけでなく座員の和も求められ、何年もかかつてやつと人形が生きたものとなるので、まだまだ若い座員だけでの公演は無理だが、これから女文楽にとつては、たのもしいかぎりである。

（直島町教育次長 松下啓一）

この
ひと



ヤラメル」の売り込みに成功。「公演中の三日間毎晩キヤラメルを届けては、天勝の舞台をタダで見れた。社長には、賞められ、自分の株もあがつた。これがきっかけ」と笑顔で話してくれる。

十三年勤めた後、独立。

製菓会社を設立して社長になる。奇術にも熱中。

開口一番、「好きなことは体に障らんな。お陰でボケたりせん」。八十歳の今でも奇術のため、月に二、三度は、老人ホームや病院、幼稚園や保育所に出掛ける。結婚式やお祭りにも招かれると奇術との出会いはまさに劇的。

丸亀の製菓会社に就職して間もなく、アメリカ帰りの松旭斎天勝が、丸亀にやつてきた。

三木さんはすぐ、楽屋へ出掛け、一座が観客の子供達に配るお菓子（キ

を演じて見せてください。マジックは読んでうれし見ておもしろく演ずればなおのしい

昭和三十六年に、丸亀奇術愛好会を結成。以来三十一年、現在会員は二十名。市中はもちろん、近隣の町にも出掛け、会員と共に大勢の人達に夢と笑いを届けている。

三十年奇術につどい励み來し 成果世に問う記念の舞台

紙を切って、うどんに見たてる「さぬきうどん」。観客から預かった千円札を燃やしたあとで、二枚にして見せる術等、奇術の話はつきない。にこやかな顔が、一転して緊張する。マツチもライターも使わずたばこに火をつけ飲み込む?お得意の、「たばこ消し」

友人で讃岐奇術クラブ代表、伊賀さんの三木さん評「年齢を感じさせないバイタリティのある人。そしてアイデアマン」とのこと。部屋を見廻すとあるある、魚拓からヒントを得て考案した「葉拓」。表に、絵や彩色した図柄を貼り、裏に自作の短歌や好きな言葉を書いた「うちわ」。自分の

想いや主張、情報を新聞、雑誌から切り抜きレイアウトした「ミニ新聞」など、アイデアを形にしている。しかも自ら楽しむだけでなく、友人、知人に贈り続けている。「無償のプレゼントに励まされる」という声も少なくない。

五、六年前からは、短歌と書道を趣味に加え、新聞、雑誌に投稿して技能を磨いている。

四半丁 老いにはかな

奇術に出会って六十年余り、今後は演じることももちろん「奇術の土壤となり、肥料となりたい」と奇術への想いは、ますます深まる。ご子息のご家族と道一つの距離で一人暮しを楽しむ三木さんは、明るくてとても若々しい。

泣く人の涙をぬぐう心こそこの世を照らす光なるらん



文化の器

丸龜市猪能弦一郎現代美術館

丸亀市浜町80-1

TEL (0877) 24-7755

大な
彫刻をアクセント
に、人々を迎えてい
る。

館内に点在する彫刻のほとんどは、もともと画

伯の指先から生まれた小さな彫刻である。

といい、二階常設展示室で見ることができる。

『対話彫刻』は、当時かなりのヘビースモーカーであった画伯が禁煙を決行した後で、手持ち無沙汰から始めたものである。

また、一階ロビーにあ
る『G E T A』は、丸亀
市と猪熊画伯を結ぶ記念
碑的な彫刻であり、美術
館開館に寄せて作られた
ものである。

二階には、展示室の他
にアートセンターがあ
る。

映画・講演会・コンサートなど、幅広く利用できる一七〇席のミュージアムホール。

子供たちが、型にはま

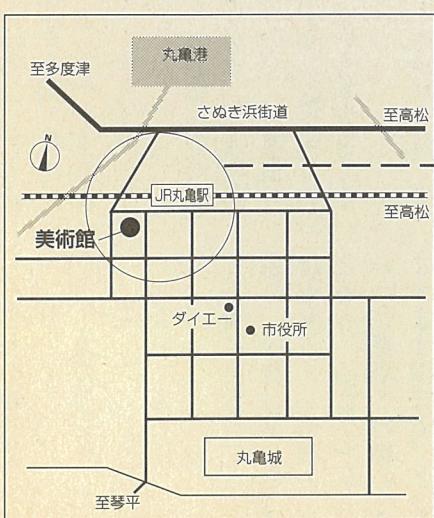
らない自由な発想で制作
できる造形スタジオ。

ここでは現在、毎月一
回外部から先生を迎えて、
ワークショップを開いて

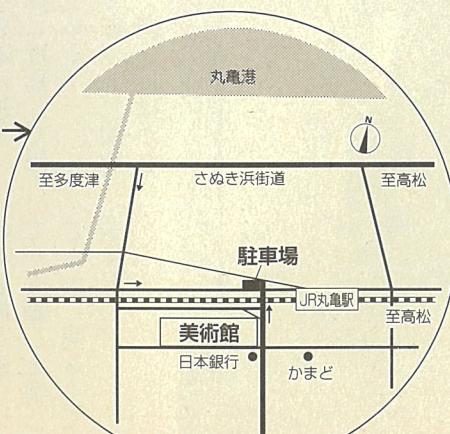
「春の軌跡」に併せて、草月流家元勅使河宏氏により
る竹を使ったインスタレーションが行われるのも
この大階段である。

美術館全体が余す所なく、文化の情報発信地としての活動を続けてい る。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館案内図



駐車場案内図



催=し=物=情=報

- | | | | |
|---|--|---|--|
| ●香川県民ホール ☎(0878)23-3131 | | 9/4 オール阪神、巨人の「ねんりん夫婦いらっしゃい」 | |
| 8 藤田まこと「人生まわり舞台」 | | 11 第8回琴伝流大正琴西日本大会 | |
| 13 布袋寅泰コンサート | | 15 沢田研二コンサート | |
| 17 マルセル・マルソー | | 23 松竹大歌舞伎 | |
| 30 YES JAPAN TOUR'94 | | 10/1 ロジェ・ワグナー合唱団 | |
| 5 オーケストラ・アンサンブル金沢高松公演 | | 7~8 B'Zコンサート | |
| 10 バーブ佐竹リサイタル94 | | 13 橋幸夫特別公演 | |
| 15 琴城流大正琴四国地区大会 | | 16 ロシア国立サンクトペテルブルクバレエ公演 | |
| 23 若藤会おどりの会 | | 25 レターメンコンサート | |
| 30 第37回香川県芸術祭オーピング公演 | | 11/1 やしきたかじんコンサート | |
| 3 レーニングラード・バレエ・シアター「ピノキオ」 | | 4 ブロードウェイ・ミュージカル「キャバレー」 | |
| 6 「にっぽん・心の詩」コンサート | | 8 香川県教育文化祭音楽会 | |
| 10 第11回香川県高等学校総合文化祭 | | 11 スロバキヤ国立放送交響楽団 | |
| 13 第37回香川県芸術祭「フェスティバル第九」演奏会 | | 15 ポルティモア交響楽団公演 | |
| 20 '94島田バレエ公演「白鳥の湖全幕」 | | 22 モスクワ・シアター・オペラ「鼻」 | |
| 23 THE・ALFEEコンサート | | 25 劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」 | |
| 26 香川大学マンドリンクラブ定期演奏会 | | 27 香川大学吹奏楽団定期演奏会 | |
| ●香川県文化会館 ☎(0878)31-1806 | | 9/10~10/10/2 日展(彫刻・工芸美術) | |
| 10/7~8 香川県華道選抜秀作品展(前期) | | 9~10 " (後期) | |
| 15~11/13 没後100年高橋由一展 | | 11/19~12/4 館蔵品名品展
常設展 | |
| 9/10~11/13 新田藤太郎展(館蔵品による) | | 9/11~12/25 藤川勇造展(" ")
古典芸能鑑賞の会 | |
| 10/28 狂言大蔵流狂言の会 | | 11/19~12/4 館蔵品名品展
常設展 | |
| ●観音寺市民会館 ☎(0875)23-3939 | | 9/4 藤あや子ファストコンサート | |
| " 民族歌舞団わらび座「いのちの歌」 | | 10/27 教育文化祭地区音楽会 | |
| 30 チャリティコンサート | | 11/11 人形と仮面による無言劇「猿の王」 | |
| 27 角笛シルエット劇場 | | ●坂出市民ホール ☎(0877)45-1505 | |
| 9/9 岡崎ひろみ日本のうたコンサート | | 11 ユーミック長唄演奏会 | |
| 15 坂出市老人クラブ芸能祭 | | 25 坂出民謡同好会発表会 | |
| 10/14 坂出市教育文化祭(音楽) | | 16 テアトルローマン「息子です。ここにちは」 | |
| 23 坂出市民芸術祭(日舞・民謡) | | 30 " (三曲・吟剣詩舞道) | |
| 11/3 " (民謡クラブ) | | 6 " (洋楽) | |
| 23 " (カラオケ大会) | | 26 SKGリサイタル(軽音楽) | |
| ●坂出市民美術館 ☎(0877)45-7110 | | 9/14~26 第9回現代仏像彫刻展 | |
| 11/1~10 坂出市美術展 | | ●志度音楽ホール ☎(0878)94-1000 | |
| 9/11 志度東中学校吹奏楽部定期演奏会 | | 9/11 志度音楽ホール | |
| 15 親子映画会 | | 15 親子映画会 | |
| 10/22 土田越子バイオリンリサイタル | | 10/22 土田越子バイオリンリサイタル | |
| 29 大川郡教育文化祭音楽会 | | 29 大川郡教育文化祭音楽会 | |
| 30 オータムコンサート | | 30 オータムコンサート | |
| 11/23 第11回香川県高等学校総合文化祭音楽会 | | 11/23 第11回香川県高等学校総合文化祭音楽会 | |
| 11月予定 ブルーノ・リッグットピアノリサイタル | | 11月予定 ブルーノ・リッグットピアノリサイタル | |
| ●善通寺市民会館 ☎(0877)62-7001 | | ●善通寺市民会館 ☎(0877)62-7001 | |
| 9/3 地域住民のための「N饗金管五重奏団」公演 | | 9/3 地域住民のための「N饗金管五重奏団」公演 | |
| 10/26 平成6年度移動芸術祭巡回公演「能楽」 | | 10/26 平成6年度移動芸術祭巡回公演「能楽」 | |
| 29 市民文化祭(合同演奏会) | | 29 市民文化祭(合同演奏会) | |
| 30 " (民謡大会) | | 30 " (民謡大会) | |
| 11/3 " (吟詠大会) | | 11/3 " (吟詠大会) | |
| 5 " (カラオケ大会) | | 5 " (カラオケ大会) | |
| 6 " (芸能まつり) | | 6 " (芸能まつり) | |
| ●善通寺市立郷土館 ☎(0877)63-6329 | | ●善通寺市立郷土館 ☎(0877)63-6329 | |
| 9/6~10/7 善通寺市周辺のはにわ展 | | 9/6~10/7 善通寺市周辺のはにわ展 | |
| 10/15~11/27 歌川国芳とその弟子達 | | 10/15~11/27 歌川国芳とその弟子達 | |
| ●丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141 | | ●丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141 | |
| 9/4 近藤博舞踊生活60周年記念公演 | | 9/4 近藤博舞踊生活60周年記念公演 | |
| 8 民族歌舞団わらび座「いのちの歌」 | | 8 民族歌舞団わらび座「いのちの歌」 | |
| 15 龍神太鼓公演 | | 15 龍神太鼓公演 | |
| 18 五木ひろし公演 | | 18 五木ひろし公演 | |
| 23 日本一オーストラリアフレンドシップコンサート
(シドニーナルドレンクワイアとの演奏会) | | 23 日本一オーストラリアフレンドシップコンサート
(シドニーナルドレンクワイアとの演奏会) | |
| 10/2 杉良太郎特別記念公演 | | 10/2 杉良太郎特別記念公演 | |
| 7 教育文化祭「音楽会」 | | 7 教育文化祭「音楽会」 | |
| 10 野中彩央理コンサート | | 10 野中彩央理コンサート | |
| 20 雪村いずみファンタスティクコンサート | | 20 雪村いずみファンタスティクコンサート | |
| 23 船村徹と仲間達バンド音楽会 | | 23 船村徹と仲間達バンド音楽会 | |
| 11/7 演劇鑑賞教室「今生きる」 | | 11/7 演劇鑑賞教室「今生きる」 | |
| 20 丸亀市民吹奏楽団記念演奏会 | | 20 丸亀市民吹奏楽団記念演奏会 | |
| 23 角笛シルエット劇場 | | 23 角笛シルエット劇場 | |
| ●丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755 | | ●丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755 | |
| 8/3~10/2 アフリカがやってきた | | 8/3~10/2 アフリカがやってきた | |
| 10/9~1/8 猪熊弦一郎青春の軌跡 | | 10/9~1/8 猪熊弦一郎青春の軌跡 | |
| 10/9~1/8 竹による一勅使河原宏展 | | 10/9~1/8 竹による一勅使河原宏展 | |
| ●丸亀市その他の施設 | | ●丸亀市その他の施設 | |
| 10/1 薬能(城内資料館前広場) | | 10/1 薬能(城内資料館前広場) | |
| 10/29~11/6 第41回丸亀市芸術祭・展示部門
(市立資料館・市総合会館) | | 10/29~11/6 第41回丸亀市芸術祭・展示部門
(市立資料館・市総合会館) | |
| 11/5~6 第24回丸亀市民芸能大会(市総合会館) | | 11/5~6 第24回丸亀市民芸能大会(市総合会館) | |
| ●高松市民会館 ☎(0878)39-2888 | | ●高松市民会館 ☎(0878)39-2888 | |
| 9/5 香川市民劇場「アルジャーノンに花束を」 | | 9/5 香川市民劇場「アルジャーノンに花束を」 | |
| 10 ジャズダンスフェスティバル | | 10 ジャズダンスフェスティバル | |
| 13 '94かがわまなびフェア・講演宮川花子の「笑いと涙の家族物語」 | | 13 '94かがわまなびフェア・講演宮川花子の「笑いと涙の家族物語」 | |
| 14 松竹名作劇場 | | 14 松竹名作劇場 | |
| 18 中四国吟剣詩舞道大会 | | 18 中四国吟剣詩舞道大会 | |
| 19 舟木一夫ショー | | 19 舟木一夫ショー | |
| 23 チャリティ映画会「先生、明日晴れるかな」 | | 23 チャリティ映画会「先生、明日晴れるかな」 | |
| 26 織田裕二コンサート | | 26 織田裕二コンサート | |
| 10/9 東尾流第26回日本民謡・民舞の会 | | 10/9 東尾流第26回日本民謡・民舞の会 | |
| 10 第21回高松市市民文化祭(市民芸能まつり) | | 10 第21回高松市市民文化祭(市民芸能まつり) | |
| 13 平成6年度教育文化祭音楽会(小学校の部) | | 13 平成6年度教育文化祭音楽会(小学校の部) | |
| 15 " (中学校の部) | | 15 " (中学校の部) | |
| 16 第21回高松市市民文化祭(音楽まつり) | | 16 第21回高松市市民文化祭(音楽まつり) | |
| 22 平成6年度高松市生活文化ショー | | 22 平成6年度高松市生活文化ショー | |

催し物情報

●高松市市民会館 ☎ (0878)39-2888

10/23	第21回高松市市民文化祭(洋舞公演)	(有)
29	グリークラブ香川第6回定期演奏会	(有)
30	第21回高松市市民文化祭(邦楽公演)	(有)
11/6	〃	(演劇公演)
13	〃	(民踊まつり)

●高松市菊池寛記念館 ☎ (0878)61-4502

9/3	菊池寛を語る集い・講演「寛のあれこれ」	(無)
10/1	〃	「寛と大衆文学」
11/5	〃	「寛と周辺の文士」
20	菊池寛ドラマ賞受賞作品「ピトルギの鈴」公演	(有)

●高松市美術館 ☎ (0878)23-1711

8/5~9/4	鳥山明の世界	(有)
9/10~10/2	日展高松展(日本画・洋画・書)	(有)
10/1	第21回高松市市民文化祭(朗説と吟詠・漢詩)	(無)
10/5~20	M OA美術館所蔵品展	(有)
10/22	ミュージアムライブ舞踏・和栗由紀夫+好善社	(有)
11/3~6	香川県教育文化祭・高松市教育文化祭	(無)
11/11~12/11	トウール美術館展	(有)
11/19	第21回高松市市民文化祭(文学大会)	(無)

●高松市総合福祉社会館 ☎ (0878)31-6633

10/8~9	跡高松市身体障害者協会文化祭	(無)
--------	----------------	-----

●高松市歴史資料館 ☎ (0878)61-4520

10/29~12/25	「描かれし美の世界」	(有)
-------------	------------	-----

●高松市玉藻公園 ☎ (0878)51-1521

9/4	菊作り講習	
10/2	第21回高松市市民文化祭(触れ合いヨーガ)桜の馬場	
10/2~11/27	第58回植木市	
11	第21回高松市市民文化祭(趣味の古木展)披雲閣	
25~11/20	〃	(菊花展・小品盆栽展)園内
11/3	〃	(川柳・短歌大会)披雲閣
12~13	〃	(秋趣茶会といけ花展)〃
23	〃	(囲碁将棋まつり)〃

●高松市 ☎ (0878)39-2636 34-6700

10/3~7	第21回高松市市民文化祭(小品盆栽)NHK高松ふれあいギャラリー	
10/24~28	〃	(趣味文化展)市役所ロビー
11/3	〃	(吟剝詩舞道大会)市民文化センター
12	〃	(歴史シンポジウム)市図書館
13	〃	(奇術への招待)市民文化センター
21	〃	(俳句大会)四国新聞社5階

●サンメッセ香川 ☎ (0878)69-3333

9/10~10/10	大ナポレン展	(有)
11/3~6	ワールド・オン・アイス「美女と野獣」	(有)

●オリーブホール ☎ (0878)61-0467

9/4	オリーブ杯英語スピーチコンテスト	(無)
10/2	第8回全国高校生音楽祭香川県ライブ	(無)
5	「くろゆめ」コンサート	(有)
9	シュプリーム・ダンス・カンパニー公演	(有)
30	劇団・冒險主義公演	(有)
11/3	劇団・空想力学公演	(有)
6	高校生音楽祭	(無)

●四国ガス・ビポット ☎ (0878)21-0248

10/5	新作ビデオ紹介とビデオ入門	
9~10	作って楽しむ手品講習	
11/2	心とからだの健康ヨーガ	

●セントラルホールウイング ☎ (0878)33-0005

9/4	第2回香川チター音楽祭	(有)
22	「豊かな生きがいフォーラム」講演とシンボジウム	(無)
25	全国高校生の主張「香川県大会」	(無)
10/15	香川県芸術フェスティバル94	演劇公演
17~18	〃	ダンス公演
11/3	〃	ライトミュージック
5	〃	ビデオ祭
11~13	〃	ミュージカル公演

●ミユーズホール ☎ (0878)33-0013

9/3	明善高等学校第29回定期演奏会	(無)
11	第9回日本フルートフェスティバルかがわ	(有)
25	藤伽会日舞発表会	(有)
10/16	ワールドファミリーパベットショー	(有)
11/5	日向薫を囲むファンの集い	(有)
13	モダンダンス土曜族展94「伝説」	(有)
19	高松古学コンソート演奏会	(有)
22	ミュージカル「ドラキュラバラダイス」	(有)

●高松三越 ☎ (0878)51-5151

~9/4	民家を描く石川茂男油絵展	
9/6~11	備前焼選抜作家展	
13~18	流政之こもの展	
20~10/10	秋の大版画展	
10/11~16	月形邦比古展	
〃	美術刀剣展	
18~24	月形邦比古展	
25~31	市松人形展	
11/1~6	日本工芸会四国支部展	
〃	日本画洋画選抜展	
11/8~13	藤原薫油絵展	
〃	今泉今右衛門展	
15~21	角卓油絵展	
22~28	武腰一憲作陶展	

●宮武画廊 ☎ (0878)51-2354

~9/4	庭師北谷賢治の世界	
9/5~11	うすずみ会香川陶光会合同展	
12~18	第11回われら職人展・未来にひらくドア	
19~25	新日美香川支部展	
26~10/2	香川現代俳画協会展	
10/3~9	森木信義オリジナルバッグ作品展	
10~16	中川清風社中三人展	
17~23	第12回香川風の会写真展	
24~30	高松美芸クラブ作品展	
31~11/6	拈語契会写真展	
11/7~13	第22回二科会香川支部写真展	
14~20	マルディ作品展	
21~27	三人展(元木秀彦他)	

●画廊千路留 ☎ (0877)75-6013

~9/7	マイアート30号絵画展	
9/10~18	〃	50号絵画展
19~28	日本光画会香川展	
30~10/12	全日写連県本部作品展	
10/14~22	第3回いまに展	
23~11/2	第12回マイアート展	
11/4~11	グループ写真通り作品展	
12~26	谷本重義個展	
27~12/7	写団まんの作品展	

* (有)は有料、(無)は無料、(会)は会費制、(整)は整理券が必要(記号表示は判明したもののみ)